



樹蔭静け

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL：0155（37）5501
発行日 令和6年1月31日

共通テスト終了～本校から132名受験

1月13・14日の両日にわたって共通テストが行われ、本校からは132名の生徒が受験し、全員が無事に終わることができました。受験生の皆さん、そしてご家族の皆様、本当にお疲れ様でした。

本校では予備校等からの情報をもとに進路検討会を20日に開催しました。その中で全体の入試動向を踏まえ、受験した生徒一人一人について状況を確認し、様々な可能性を模索しながら受験校を検討しました。この内容を元に受験校選択の指導を行っています。

佐藤明彦進路指導部長は本校生徒の状況について次のように述べています。「今年の共通テストは、文章や単語量の増加や、やや高度な思考力を要する問題が増えたものの合計平均点は昨年をやや上回る結果と予想されています。本校ではほぼすべての科目で校内平均が全国平均を上回ることができ、合計でもしっかり点数を取り切れた生徒が文系を中心に多く出ました。進路検討会でも、様々な地域の大学を見据え前向きな検討を多くすることができました。

国公立大入試では、前期だけでなく中・後期も積極的に出願することで多くのチャンスが生まれます。ぜひ最後まで頑張って合格を勝ち



【2次試験対策に励む生徒たち】

取ってほしいです。そのために講習や面接・小論文指導で学校全体でサポートしていきます。」

国公立大の出願は2月2日(金)までとなっています。また私立大の受験も既に始まっています。最後まで粘り強く頑張ってください。



【+勝毎日新聞社提供】

全国高校スピードスケート選手権 女子学校対抗で2連覇・男子も2位

17～21日に岐阜県恵那市で開催されたインターハイ・スピードスケート女子学校対抗で2連覇を果たしました！個人でも500mでは奥秋静子さんが優勝、竹田真穂さんが3位、1000mでは河原莉緒さんが優勝、山田怜歩さんが2位、1500mでも河原さんが3位に入るなど素晴らしい成績をあげました。男子も日下賢将さんが1000m・1500mともに2位、男子500mでは佐藤敦さんが2位となり、学校対抗でも2位を獲得するなど、三条スケート部は大活躍でした。

三条生、世界に挑む！

韓国カンウォンで開催されている冬季ユースオリンピック2024（冬季ユース五輪、20日～2月1日）に三条生が出場し、世界へ果敢に挑みました。

出場したのはスケート部の小島楓さんと市山ひまりさん（ともに2年3組）の二人。小島さんはスピードスケート1500mと混合リレーに出場し、ともに4位入賞を果たしました。市山さんは混合団体に出場し、予選リーグを3位で決勝トーナメントに進みましたが、準々決勝のデンマーク戦に残念ながら敗退しました。世界に果敢に挑戦する三条生二人の今後の活躍に期待するとともに、三条生の皆さん一人一人ががどんな挑戦を見せてくれるか、これからに期待したいと思います。



節電運動結果

今回は昨年度よりも若干使用量が増えましたが一昨年は下回っています。こまめに電気のスイッチオフをお願いします。

	12月
一昨年度	21,894kWh
昨年度	190,094kWh
今年度	20,170kWh

第34回 中山知美 養護教諭

今辛くても、絶対大丈夫！

◇高校時代は生徒会

高校時代は生徒会に入り、書記を担当していました。生徒会での活動は本当に面白かったです。自分たちのやりたいことを生徒会顧問の先生に話しても先生方は色々な事情を考慮して「難しい」と言うのですが、それに対して私たちは、「それならこうしたらどうですか」と何度も交渉を重ねて実現に至るという過程が楽しかったです。こうして高3の学校祭で全校焼き肉を実現させました。先生方は当初、片付けが大変だと言って難色を示していたのですが、鉄板にアルミホイルを敷いてする方法を提案。先生方と生徒会メンバーで実際に河原で焼き肉をして、先生方も「これなら大丈夫」とOKをだしてくれました。花火もしたかったのですが、小さな高校でしたので予算的に無理と言うことで諦めたのですが、先生方がこれならできると、ドラゴンっていう火花が噴出する花火を時間差で連続してできるように工夫してやってくれたのが本当に嬉しかったです。そんな活発な生徒会の中で私は目立つ存在ではありませんでした。ところが、卒業時に先生から「中山って、そういう視点で見てるのだから、こっちがハッとするのを最後に言うんだよね」と言われたことを覚えています。そんなにいいことを言った記憶もないのですが…。前面に出ないのは自分に自信がないからで、今もそうです(笑)。

◇養護教諭を目指すきっかけ

私は高校生の時に家庭内での問題で誰にも言えず人知れず悩んでいた時期がありました。ある日、友人が悩み事を相談すると言って保健室に行くのに私も付き添ったのです。その時、友人が泣きながら養護教諭の先生に話していて、つい私も泣いてしまったんです。そしたら先生が

後で私にも声を掛けてくれて、初めて他人に話すことができました。先生はそれ以降もずっと「大丈夫だから」と励ましてくれて、「私も頑張れるかな」と思えるようになったのでした。そこから私も高校生の力になりたいと思うようになりました。

◇諦めずに養護教諭へ

それでも簡単には養護教諭になれませんでした。最初の教員採用試験に受からず、デパートの服飾関係の会社に勤めました。いわゆるアパレル関係です。華やかな世界に見えますが内実は大変で、給料から家賃・生活費の他に自社の服を買わなくてはならなくて、それがブランドもので結構高かったんで、貯金を切り崩すような生活でした。そこは半年ほどで辞めて他の仕事に就きましたが、その後、養護教諭の期限付き採用のお話をいただいて、全校生徒12名の小さな小中学校の養護教諭として働くことができました。現場に立って初めて、学生時代に教わったことがこういうことだったのかと実感できました。子どもたちに寄り添うことがきちんとできたかわかりませんが、やりがいのある仕事と思えました。その後、小中学校を3校経験し、ようやく高校の養護教諭として採用となりました。三条高校が3校目となります。

三条生は掛ける言葉が見つからないほど頑張っています。私から見てもすごいなあと思います。それでも辛いと思うときがあると思います。そんな時は保健室に気軽に来てください。



インタビュー

きらり

令和6年の抱負を聞く

生徒会長 2年2組 川原 良佳 さん



生徒会長の川原さんに今年の抱負を聞きました。「生徒会としては、先輩方から受け継がれてきたものを守りながら、変えるべきところや私たちが変えたいと思うところはしっかり変えていきたいと思っています」ときっぱり。その流れの中に今回全校生徒にとった学校祭花火アンケートもあると言います。「昨年の学校祭は花火までのつながぎを考えてスケ

ジュールを組んだところがあり、多少の無理があったように思います。暑さ対策の観点からも検討をする必要があり、まず花火についての皆さんの意見を聞きたいと思いました」と意図を説明し、続けて「もちろん、ただなくすだけではなく、その分のプラスアルファを打ち出していきたいと考えています」と答えてくれました。その具体案については、まだ公表する時期ではないとのこと。これからの提案が楽しみです。10月の立会演説会で「全校生徒の意見を聞いて、それを行事に反映させていきたい」と訴えた川原さんですが、改めて生徒の皆さんへのメッセージをお願いしますと「どんな小さなことでも構わないので、意見を寄せてほしい」と言っていました。

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。

さて、川原さんが生徒会に入ったきっかけを尋ねると「高校入学後も習い事を続けたかったというのがまずあって、それでも高校で何かをたくて生徒会を選びました。姉が他校で生徒会を経験していて、やりがいがあると聞いていたことも大きかったと思います」とにこやかに答えてくれました。

新生徒会の雰囲気は「最高」だそうで、「生徒会長だけが動いているということがないんです。みんなそれぞれの役割をきちんと最後までやり抜くというまさしくチームワークがきちんとできています」とにっこり。「生徒会には忙しいですが、みんなと一緒にいて色々な話をするのがとても楽しい時間になっています。生徒会室が居心地良すぎて困るくらいです」と笑います。

川原さんの目から見た三条生の印象は「みんなが何かに頑張っています。部活動だったり、習い事だったり、もちろん勉強もそうですが、それぞれ極めようと頑張っています。みんなすごいです」とのこと。そこでご自身の目標を聞くと、「人のためになる仕事に就くことです。こうやって生徒会の仕事をして、みんなが行事を楽しんで喜んでくれるという経験をしたことが大きいです。社会に出てからも人のために働くことで喜んでもらえるような存在になりたいと思うようになりました」とはにかみながら答えてくれました。生徒会長として、今後の活躍を期待しています！

